平成30年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年２月６日

上 場 会 社 名　　シップヘルスケアホールディングス株式会社　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　3360　URL http://www.shiphd.co.jp/
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役会長 CEO　(氏名) 古川　國久
問合せ先責任者　(役職名) 常務取締役　(氏名) 横山　裕司　(TEL) 06-6369-0130
四半期報告書提出予定日　平成30年２月９日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成30年３月期第３四半期の連結業績（平成29年４月１日～平成29年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年３月期第３四半期	301,012	6.0	11,554	26.5	12,023	25.0	7,003	33.4
29年３月期第３四半期	283,978	34.7	9,133	14.8	9,622	13.9	5,249	17.6

(注) 包括利益 30年３月期第３四半期　8,166百万円(　37.5%) 29年３月期第３四半期　5,940百万円(　33.1%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年３月期第３四半期	138.42	―
29年３月期第３四半期	103.99	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年３月期第３四半期	267,609	98,716	36.0
29年３月期	263,540	93,632	34.7

(参考) 自己資本 30年３月期第３四半期　96,456百万円　29年３月期　91,384百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年３月期	―	0.00	―	60.00	60.00
30年３月期	―	0.00	―		
30年３月期(予想)				61.00	61.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無
(注) 29年３月期期末配当金の内訳　普通配当　56円00銭　記念配当　4円00銭

３．平成30年３月期の連結業績予想（平成29年４月１日～平成30年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	425,000	4.0	16,900	5.3	17,100	3.8	10,000	6.3	197.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年３月期３Ｑ	50,834,700株	29年３月期	50,834,700株
②　期末自己株式数	30年３月期３Ｑ	235,568株	29年３月期	235,568株
③　期中平均株式数（四半期累計）	30年３月期３Ｑ	50,599,132株	29年３月期３Ｑ	50,479,732株

※　四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、世界各国の景気回復が進む中、好調な企業収益を背景とした設備投資の改善、失業率の低下等に伴い、緩やかに景気持ち直しの動きが続きました。

当社グループの属する医療業界におきましては、来年度の診療報酬・介護報酬のダブル改定への対応や、特に都市部を中心とした少子高齢化に伴う社会インフラの再整備、最先端医療への対応等、中長期的視点での継続した投資や変革が求められております。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、トータルパックプロデュース事業において大型プロジェクト案件が計画通り進捗すると共に、介護系メーカーの製品販売についても堅調に推移いたしました。また、ライフケア事業や調剤薬局事業も順調に推移いたしました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は301,012百万円（前年同四半期連結累計期間比6.0%増）、営業利益は11,554百万円（前年同四半期連結累計期間比26.5%増）、経常利益は12,023百万円（前年同四半期連結累計期間比25.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,003百万円（前年同四半期連結累計期間比33.4%増）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

①トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、海外子会社や重粒子線治療施設の立ち上げにかかる費用が計上されたものの、大型プロジェクト案件を中心に計画通り進捗いたしました。また、介護系メーカー製品の販売も順調に推移いたしました。

この結果、売上高は61,219百万円（前年同四半期連結累計期間比10.6%増）、セグメント利益（営業利益）は6,000百万円（前年同四半期連結累計期間比15.9%増）となりました。

②メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、前期に計上した大型M＆Aに伴うアドバイザリー費用の影響が無くなりました。また、昨年受託が集中したＳＰＤ施設の運用が改善され、順調な稼働状況となったこと等により増収増益となりました。

この結果、売上高は200,175百万円（前年同四半期連結累計期間比4.4%増）、セグメント利益（営業利益）は2,701百万円（前年同四半期連結累計期間比50.9%増）となりました。

③ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、入居率の改善が進んだことや、運営効率化による業務改善が奏功したこと等により収益が改善いたしました。

この結果、売上高は16,894百万円（前年同四半期連結累計期間比6.7%増）、セグメント利益（営業利益）は698百万円（前年同四半期連結累計期間比45.5%増）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、M＆Aや新規出店が奏功し、業績は順調に推移いたしました。

この結果、売上高は19,188百万円（前年同四半期連結累計期間比6.2%増）、セグメント利益（営業利益）は2,122百万円（前年同四半期連結累計期間比23.6%増）となりました。

⑤その他

その他におきましては、動物病院の運営及び理化学機器の販売が概ね計画通り進捗いたしました。また昨年グループ入りした警備系会社の業績が期初より寄与いたしました。

この結果、売上高は3,533百万円（前年同四半期連結累計期間比17.1%増）、セグメント利益（営業利益）は192百万円（前年同四半期連結累計期間比67.5%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の資産は267,609百万円となり、前連結会計年度末と比べて4,069百万円増加いたしました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が10,580百万円減少した一方、建設仮勘定が4,278百万円、商品及び製品が3,809百万円、現金及び預金が2,118百万円、電子記録債権が1,324百万円増加したこと等によるものであります。

負債は168,892百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,015百万円減少いたしました。その主な要因は、電子記録債務が3,769百万円、長期借入金が1,771百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が5,966百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は98,716百万円となり、前連結会計年度末と比べて5,084百万円増加いたしました。その主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が3,035百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が7,003百万円、その他有価証券評価差額金が1,105百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第３四半期連結会計期間末の自己資本比率は36.0％（前連結会計年度末比1.3ポイント増）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、平成29年５月12日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成29年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成29年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,444	51,562
受取手形及び売掛金	95,657	85,076
電子記録債権	1,920	3,245
リース投資資産	4,057	3,921
商品及び製品	11,669	15,479
仕掛品	1,328	2,000
原材料及び貯蔵品	840	953
その他	9,590	11,447
貸倒引当金	△78	△74
流動資産合計	174,430	173,611
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,972	14,713
土地	15,222	15,557
建設仮勘定	5,716	9,994
賃貸不動産（純額）	14,186	13,943
その他（純額）	3,385	3,197
有形固定資産合計	53,483	57,406
無形固定資産		
のれん	10,912	10,907
その他	1,296	1,117
無形固定資産合計	12,208	12,024
投資その他の資産		
長期貸付金	10,172	9,973
その他	15,793	17,180
貸倒引当金	△2,563	△2,587
投資その他の資産合計	23,402	24,566
固定資産合計	89,093	93,998
繰延資産		
株式交付費	16	－
繰延資産合計	16	－
資産合計	263,540	267,609

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成29年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成29年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	86,307	80,340
電子記録債務	16,192	19,962
短期借入金	2,020	3,260
未払法人税等	4,120	1,393
賞与引当金	1,905	900
その他	15,831	17,114
流動負債合計	126,377	122,969
固定負債		
長期借入金	36,146	37,918
退職給付に係る負債	2,548	2,649
資産除去債務	362	373
その他	4,472	4,982
固定負債合計	43,530	45,923
負債合計	169,908	168,892
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,716	23,716
利益剰余金	51,059	55,027
自己株式	△448	△448
株主資本合計	89,881	93,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,459	2,565
為替換算調整勘定	47	41
退職給付に係る調整累計額	△3	1
その他の包括利益累計額合計	1,503	2,607
非支配株主持分	2,247	2,259
純資産合計	93,632	98,716
負債純資産合計	263,540	267,609

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成29年４月１日 至　平成29年12月31日）
売上高	283,978	301,012
売上原価	253,576	267,985
売上総利益	30,402	33,026
販売費及び一般管理費	21,268	21,472
営業利益	9,133	11,554
営業外収益		
受取利息	247	236
受取配当金	105	124
負ののれん償却額	180	174
持分法による投資利益	－	39
貸倒引当金戻入額	85	8
その他	331	256
営業外収益合計	948	840
営業外費用		
支払利息	222	189
持分法による投資損失	11	－
為替差損	44	9
その他	181	172
営業外費用合計	459	371
経常利益	9,622	12,023
特別利益		
固定資産売却益	8	4
投資有価証券売却益	88	－
事業譲渡益	－	20
長期未払金取崩益	20	－
その他	0	0
特別利益合計	116	25
特別損失		
固定資産売却損	105	3
減損損失	－	48
固定資産除却損	79	28
投資有価証券評価損	37	113
厚生年金基金脱退損失	208	－
のれん償却額	71	－
その他	8	3
特別損失合計	510	197
税金等調整前四半期純利益	9,228	11,852
法人税、住民税及び事業税	3,267	3,957
法人税等調整額	620	792
法人税等合計	3,888	4,749
四半期純利益	5,340	7,102
非支配株主に帰属する四半期純利益	91	98
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,249	7,003

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成29年４月１日 至　平成29年12月31日）
四半期純利益	5,340	7,102
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	599	1,105
為替換算調整勘定	△2	△46
退職給付に係る調整額	3	4
その他の包括利益合計	600	1,064
四半期包括利益	5,940	8,166
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,848	8,108
非支配株主に係る四半期包括利益	92	58

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成28年４月１日　至　平成28年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	トータルパックプロデュース事業	メディカルサプライ事業	ライフケア事業	調剤薬局事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	55,364	191,695	15,829	18,071	280,960	3,017	283,978	－	283,978
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,360	1,283	20	1,379	5,043	29	5,072	△5,072	－
計	57,724	192,978	15,850	19,450	286,004	3,047	289,051	△5,072	283,978
セグメント利益	5,175	1,790	480	1,716	9,163	115	9,278	△145	9,133

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△145百万円には、セグメント間取引消去△15百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△132百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの資産に関する情報

当第３四半期連結累計期間において、小西共和ホールディング㈱株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象により「メディカルサプライ事業」セグメントにおいて、前連結会計年度の末日に比べ資産が42,607百万円増加しております。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

当第３四半期連結累計期間において、小西共和ホールディング㈱株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「メディカルサプライ事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第３四半期連結累計期間においては1,066百万円であります。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成29年４月１日　至　平成29年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	トータルパックプロデュース事業	メディカルサプライ事業	ライフケア事業	調剤薬局事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	61,219	200,175	16,894	19,188	297,478	3,533	301,012	－	301,012
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,091	859	447	1,858	4,256	75	4,332	△4,332	－
計	62,311	201,035	17,341	21,046	301,735	3,609	305,344	△4,332	301,012
セグメント利益	6,000	2,701	698	2,122	11,523	192	11,716	△161	11,554

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額△161百万円には、セグメント間取引消去△5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△107百万円、未実現利益の調整額△47百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

３　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第３四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。